

更生保護法人 広島県更生保護協会

会 報



“厳 島”

光風会評議員 北 田 和 広・画

広島県更生保護協会の役員の皆様には、日頃から更生保護事業のため、物心両面からのご支援をいただき心から感謝申し上げます。ところで、平成十九年度は「更生保護改革元年」、「更生保護変革元年」または、「更生保護飛躍の年」等と言われていると申しますのも、平成十七年七月に立ち上げられた「更生保護のあり方を考える有識者会議」が十七回の検討会を終えて、昨年六月に同会議の報告書「更生保護制度改革の提言」としてまとめられました。更生保護関係者は、当該報告書での提言を重く受け止めて、昨年度から、保護観察の充実強化を始めとして、これまでの更生保護制度や保護観察制度等の改革を推進し、真に、国民から理解と信頼を得られ

更生保護の改革推進にご支援を



広島保護観察所長

村 上 高 信

るよう、各種施策の実現に向けて邁進しているところであります。

このような大改革は、昭和二十四年に始まりました戦後の更生保護制度が始まって以来、

五十八年目にして初めてのことでありまして、大きな期待とともに、与えられた責務の大きさをひしひしと感じているところでもあります。特に、本年六月八日に関係各位のご協力により「更生保護法」が成立し、国民からの期待はますます高まっていることを痛感しているところであります。

広島県の更生保護を支えられている広島県更生保護協会の皆様におかれましては、私どもの目指すところをご理解いただきまして、倍旧のご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

寄稿



フリスンコンサートで思うこと

「せっかく歌手になったんだから、何か日本一になろうよ」インディーズ活動を経て、メジャーデビューしたばかりの私達にマネージャーが言いました。



刑務所でのコンサート

「刑務所に行こうよ」その言葉がきっかけとなり、北海道の網走から鹿児島まで、一年中車で走りまわる活動が始まりました。憧れの歌手になって、まさか「こんな苦労までしなければならぬの？」と言う体験も何度も遭遇しました。

金銭的な事や、将来の見えない日々の中で、何度も自分自身を見失いそうにもなりました。

そんな時、私達の心を支えてくれたのは、塀の中で後悔の日々を送りながらも、コンサート会場の講堂で拍手をくれた、受刑者の皆さんの存在であり、無言で語り掛けてくれる、その目から学ばせて頂いた多くの教訓のお陰だと言っ

でも過言ではありません。

「人生とは？」私達はまだまだこの問いかけに対して、人生の諸先輩方に語る事は出来ませんが、自分自身が生まれてきた事の意味だけは少し解ってきたような気がします。

デビューして三年目、初めて私達に大きなチャンスがやって来ました。

(NHK教育番組の主題歌)として紅白にも匹敵する(歌謡コンサート)への出演！総てが夢のような話です。

それから、数々のメディアに登場させて頂ける様になりましたが、メディアのお話を頂く度にいつも心を戒める事にしています。奢らず、気負わず、怠らず！うれし事も、苦しい試練も、きつと自分自身に対して、神様から与えられた試験問題ではないかと思う様になったのです。

一昨年、光栄にも法務大臣表彰を頂きました。

このような表彰を頂く事は夢のような出来事ですが、それは多くの受刑者の皆さんと、その更生に携わる多くの皆さんの理解があったからこそ感謝しています。

「ベベさんにとって矯正施設でのコンサートとは？」私達はまだまだ取材記者に良く質問されます。

私達は、この矯正施設でのコンサートを通して伝えたい事はただ一つです。幸せとは「大好きな人とずっと一緒にいる事」

人は幸せなときには、幸せの意味さえも考えようとはしませんが、幸せを失って初めて幸せの意味を知りその幸せの意味を知る事になります。

最近、社会復帰した、多くの方々からメールやお手紙を頂きます。中には、コンサート会場にご家族の方と一緒に来てくださる方も多くなってきました。

私達の旅はまだまだ続きます。社会で暮らす多くの人々に「継続は力なり」を伝えたいからです。そして、私達のコンサートを施設で体験してくださった皆さんに、それを実証するためにも……



第5回更生保護チャリティー音楽の夕べ(広島市)

情報交換会



*本年二月二十四日午後市内のホテルにおいて、筒井数三理事長は、谷川和穂氏(全国保護司連盟会長)・全国更生保護法人連盟常務理事小畑哲夫氏を迎えて情報交換会を行った。当会は現況報告と共に運営上の問題等話した。阿氏は、当会の実施している事業は全国でも高く評価されていると述べた。なお、更生保護事業資金の取扱いを厳重に行うため、関係団体等に当会の持つ役割を充分理解を得る努力をしていくことが必要であると助言した。その他、活発な意見があり、有意義な懇談となった。

篤志寄附者 平成18年度

敬称略(単位円)

(株)シンコー (代)筒井 数三	1,100,000	島 田 貞 登	30,000	広 島 電 鉄 (株)	100,000
広 島 電 鉄 (株) (代)大田 哲哉	100,000	(株)ふるがいち (代)田中 研一	30,000	(株)広 島 銀 行	100,000
福 井 大 海	100,000	(株)中 博 建 設 (代)中村 博房	30,000	(株)ザ イ エ ン ス	50,000
菱 光 産 業 (株) 会長 吉田 愷忠	100,000	大 栄 電 業 (株) 会長 貫名 賢	30,000	中 国 電 力 (株)	100,000
安部税理士事務所 (代)安部 憲明	80,000	ミスズガーデン(株) (代)三島 正義	30,000	(株)も み じ 銀 行	50,000
広島県遊技業協同組合 (代)池田 仁志	80,000	宮 本 克 彦	50,000	(株)中 電 工	100,000
東洋観光グループ (代)今井 誠則	100,000	(有)森 本 製 作 所 (代)森本 慶治	30,000	マ ッ ダ (株)	100,000
北 田 和 廣	80,000	クニヒロ商事(株) (代)渡部 俊司	30,000	広 島 ガ ス (株)	100,000
江波沢崎産婦人科医院 院長 沢崎 衛	100,000	(株)和 田 ビ ル (代)和田 庸子	30,000	(株)フ ジ タ	50,000
佐々木 良 子	100,000	山 本 昌 行	400,000	(株)中 国 新 聞 社	100,000
(社)県交通安全センター 理事長 下竹 勇夫	300,000	福 原 久 泰	20,000	堀 隆 史	6,000
(株)シンギ (代)田中 幸夫	80,000	(株)東映ゴルフ倶楽部 総支配人 寺川 清	10,000	板 谷 徹	10,000
(医)せのがわ瀬野川病院 院長 津久江一郎	100,000	中 曾 義 孝	20,000	近 藤 一 也	10,000
(株)中 尾 鉄 工 所 (代)中尾 健三	80,000	中 曾 マ リ コ	20,000	楠 本 正 剛	200,000
広 島 駅 弁 当 (株) (代)中島 和雄	80,000	(財)多 山 報 恩 会 理事長 増井 清	500,000	坂 本 勝 成	200,000
金本公認会計士事務所 (代)金本 善行	40,000	(株)農協プロパンセンター (代)関城偉都穂	50,000	瀧 川 和 子	200,000
赤羽公認会計士事務所 (代)赤羽 克秀	30,000	安芸教区仏教婦人会連盟 会長 大江 蘭子	500,000	宇 田 治	200,000
ウエノヤビル(株) (代)上野谷吉禮	30,000	(有)高 野 食 品 (代)高野 義博	10,000	鹿 内 要 秀	200,000
岡 本 忠 勝	200,000	全国更生保護法人連盟 小畑 哲夫	30,000	出 原 正 博	100,000
(株)広 島 千 茶 荘 専務取締役 吉川 水貴	30,000	熊 谷 憲 二	20,000	広島陵北ロータリークラブ 会長 福田 義彦	100,000
山 陽 乳 業 (株) (代)木原 正勝	30,000	(株)北 川 鉄 工 所 (代)北川 祐治	50,000	三 栄 産 業 (株)	30,000
		リ ョ ー ビ (株) (代)吉川 進	50,000	小 林 美 智 子	20,000
				広 島 信 用 金 庫 理事長 高木 一之	50,000
				(株)ニ イ テ ッ ク	50,000
				平 原 正 敏	250,000
				(株)研 創 (代)林 良一	30,000
				宇 都 宮 弘 子	100,000
				チャリティー音楽(282件)	2,259,000
				匿 名 1 件	200,000

遺族からのご芳志

住田キヨコ 100,000

広報 活動

第9回更生保護

『チャリティー音楽の夕べ』

“ふるさとに思いを馳せて”



更生保護事業支援の企業家や関係者の協力により、本年2月23日午後6時、センチュリーホテル21広島において開催。竹山流津軽三味線師範の島村舟山氏により「津軽ジョンガラ節・よされ節・津軽節」などの重厚な三味線の音色が会場に響いた。併せて「千の風になって・さくら」などの歌もあり3百名近い入場者は故郷に思いを馳せた。



当夕べには、広島高等検察庁 鈴木芳夫検事長や後援団体である広島地方検察庁 坂井靖検事正、中国地方更生保護委員会 大野守一事務局長、広島保護観察所 白濱謙吉所長その他各界の来場があった。

裁判員制度の広報活動！

平成二十一年同制度はスタートする。昨年に引き続き、検察庁への協力事業として、ロータリークラブなど、企業関係へ向けた広報活動を行っている。

◆平成十八年度広報活動

広島安芸ロータリークラブ・広島陵北ロータリークラブ・広島廿日市ロータリークラブ・広島東ロータリークラブ・その他企業



広島県更生保護協会副理事長
福井 大海・画(日本水彩画会会員)



秋の粧い

第57回 社会を明るくする運動
ひろしま絵画展2007 出展

更生保護懇談会



坂井 靖 氏

平成十八年九月二十五日ひろしま国際ホテルにおいて、支援者をはじめ、各界と関係機関等を招いて懇談会をおこなった。主催者を代表し谷川和穂会長は来場者に平素の協力に対する謝意を述べ、引き続き今後の協力をお願いした。続いて来賓を代表し広島商工



左から 谷川和穂 氏 筒井敦三 氏 藤井昌平 氏

会議所専務理事の藤井昌平氏が祝辞を述べた。
席上、筒井敦三理事長は、新らしく就任した理事・評議員に委嘱書を手渡した。
次に更生保護に貢献した団体や個人に、法務大臣並びに中国地方更生保護委員会委員長の感謝状を同委員会山口透第二部長委員から伝達・贈呈し、広島保護観察所白濱謙吉所長、当会筒井敦三理事長はそれぞれ感謝状を贈呈した。
特別ゲストの広島地方検察庁坂井靖検事は、「司法制度



法務大臣感謝状の受章者

改革の中の裁判員制度に」についてのスピーチを行った。
出席企業は、二十数社あり、ミニコンサートも加え和やかな懇談会となった。

法務大臣感謝状受章者

谷川和穂先生のご功績を称える頌徳碑を建立する会

代表 増井 美秋

・(財)多山報恩会

理事長 増井 清

・安芸教区仏教婦人会連盟

会長 大江 蘭子

・(社)呉交通安全センター

理事 花浦芽久美

企業出席者 (順不同・敬称略)

中国電力㈱CSR推進部部長 鎌倉 秀章

東洋観光㈱総支配人 鶴飼 恵美

(社)呉交通安全センター理事長 下竹 勇夫

田中電機工業㈱取締役社長 田中 秀和

㈱ヒラヤマ代表取締役社長 平山 公生

㈱マシヤ工業代表取締役社長 吉岡 邦明

(有)コーシン代表取締役社長 仲 勝寛

㈱農協プロパンセンター代表取締役 関城偉都穂

(有)岡野商店代表取締役社長 岡野 雅美

東洋機械㈱代表取締役社長 後神 伸治

(有)宇根鉄工所代表取締役社長 宇根 賢三

毎日産業㈱代表取締役社長 森本 信子

おおが産業㈱代表取締役社長 大賀 高志

㈱宇根鉄工所代表取締役社長 中野 剛

㈱広島精機常務取締役 柳原 周二

中国商事㈱代表取締役社長 三好 洋直

原田鉄工㈱代表取締役 原田 政明

石田造機㈱代表取締役社長 石田 隆

㈱サルツ代表取締役 古屋 嘉嗣

㈱ヒロセキ代表取締役社長 室崎 雅宣

㈱シンコー取締役社長 筒井 数三

広島電鉄㈱代表取締役社長 大田 哲哉

菱光産業㈱取締役会長 吉田 愷忠

㈱中尾鉄工所代表取締役 中尾 建三

㈱広島千茶荘専務取締役 吉川 水貴

㈱文明堂総本店広島支店相談役 中川 良男

(有)森本製作所取締役社長 森本 慶治

平成18年度収支計算及び平成19年度収支予算

1 収入の部

項 目	18年度決算	19年度予算	項 目	18年度決算	19年度予算
補助金収入	1,938,000	400,000	財産収入	164,492	440,000
国庫補助金収入	0	0	利息及び配当金収入	164,492	440,000
地方公共団体補助金	0	0	会費収入	5,751,000	7,400,000
助成金収入	1,938,000	400,000	会費収入	5,751,000	7,400,000
寄附金収入	10,335,000	10,750,000	雑収入	0	10,000
篤志者寄附金	296,000	500,000	雑収入	0	10,000
共同募金配分金	600,000	600,000	収入合計	18,188,492	19,000,000
役員等寄附金	7,739,000	8,650,000			
その他の寄附金	1,700,000	1,000,000			

2 支出の部

項 目	18年度決算	19年度予算	項 目	18年度決算	19年度予算
一時保護事業	2,260,000	700,000	調査研究費	125,000	150,000
事務費	150,000	150,000	その他	10,576	30,000
給料手当	150,000	150,000	顕彰式	180,000	0
金品給与費	2,110,000	550,000	助成費	5,797,600	5,800,000
金品給与費	2,110,000	550,000	継続保護事業	1,500,000	1,300,000
連絡助成事業費	12,615,567	12,745,000	一時保護事業	130,600	150,000
事務費	3,439,677	3,460,000	保護司活動	2,409,500	2,550,000
給料手当	1,850,000	1,850,000	更生保護女性会	587,500	900,000
雑給与	742,475	700,000	B B S 活動	260,000	300,000
福利厚生費	380,503	405,000	その他	910,000	600,000
旅費交通費	164,310	150,000	管理費	3,673,243	3,795,000
通信運搬費	140,920	200,000	給料手当	500,000	500,000
消耗品費	38,068	35,000	退職手当	216,000	228,000
備品補修費	0	0	会議費	391,984	500,000
減価償却費	0	0	交際費	100,550	100,000
印刷製本費	74,678	60,000	旅費交通費	299,213	260,000
雑費	48,723	60,000	通信運搬費	151,236	150,000
啓発費	1,793,508	1,720,000	消耗品費	7,942	40,000
啓発費	1,793,508	1,720,000	印刷製本費	43,050	45,000
連絡調整費	1,584,782	1,765,000	備品補修費	0	0
継続保護事業	10,000	30,000	賃貸料	779,709	856,000
一時保護事業	0	10,000	水道・光熱費	141,666	130,000
連絡助成事業	43,695	25,000	雑費	1,041,893	986,000
保護司活動	276,880	410,000	積立金	0	1,250,000
更生保護女性会	100,000	100,000	積立金	0	1,250,000
B B S 活動	100,000	160,000	予備費	0	510,000
協力雇用主会	100,000	100,000	予備費	0	510,000
機関紙発行費	323,034	340,000			
大会費	0	300,000			
報償費	315,597	110,000	支出合計	18,548,810	19,000,000

平成18年度 事業成績

更生保護事業

(1) 一時保護事業

(単位 円)

項 目	助 成 理 由	金 額
一時保護事業	金品給与費 173件他	550,000
	就労支援費 39件	1,560,000
合 計		2,110,000

(2) 連絡助成事業

ア 更生保護法人等に対する助成などに関する事項

更生保護の名称	助成内容	金 額
(国)ウイズ広島・呉清明園	施設運営費など	1,500,000
(国)ウイズ広島・呉清明園	一時保護事業	130,600
合 計		1,630,600

イ その他の事項

1 助 成 先	助成内容	助成金額
保 護 司 活 動	事業活動費	2,409,500
更 生 保 護 女 性 会	事業活動費	587,500
広 島 県 BBS 連 盟	事業活動費	260,000
そ の 他 の 助 成	事業活動費	910,000
合 計		4,167,000

2 項 目	内 容	金 額
継続保護事業連絡調整費	調整費	10,000
連絡助成事業連絡調整費	協議会等	43,695
保護司活動連絡調整費	研修会等	276,880
更生保護女性会活動連絡調整費	研修会等	100,000
BBS活動連絡調整費	研修会等	100,000
広島県協力雇用主会		100,000
合 計		630,575

(3) その他連絡助成以外の事業

項 目	内 容	金 額
機関紙「会報」発行	第17号発行 2,800部	323,034
啓 発 活 動	第56回社明運動助成・企業啓発・チャリティーコンサート等	1,793,508
調 査 研 究	処遇研究会開催経費概況印刷費	125,000
広島県顕彰式典	開催経費助成	180,000
表彰・協力事項	表彰及感謝状伝達記念品等	315,597
そ の 他	2件	10,576
合 計		2,747,715

平成19年度の主な事業

1 運営に関する事項

整または助成

県内に於ける更生保護活動を広く社会に知らしめ、犯罪や非行のない明るい社会を築くため、更生保護を支えている民間ボランティア、施設団体等に対する連絡助成事業および一時保護事業を行うと共に、援助を頂ける多くの寄附者及び会員を募集し、以って更生保護事業の充実発展に寄与する。

*その他の事業

- ④ 犯罪予防を図るための世論啓発その他の活動を行う
⑤ 関係機関・団体との連絡協議を図る

- ① 広島県更生保護大会に参加・協力・援助

- ② 更生保護協力者に対し表彰及び記念品を贈呈

③ 中国地方更生保護協会に対する協力援助

- ④ 機関紙「会報」第十八号を発行

2 事業に関する事項

*一時保護事業

定款第三条に定める目的に従って一時保護事業を行い、特に法により援助保護の出来ない者に金品を給与し、自立更生を援助する

- ⑤ その他協会の事業目的達成に必要と認められる事業の実施

*連絡助成事業

① 更生保護施設に対する連絡・調整または助成

② 保護司活動に対する連絡・調整または助成

③ 更生保護を支える民間の協力団体に対する連絡・調



◆ 新 事 業 ◆

刑務所出所者等就労支援事業

平成18年度から日本更生保護協会は、厚生労働省の委託等により、ハローワーク、保護観察所、都道府県を事業区域とする更生保護法人等と緊密に連携して、就労支援事業を実施することになった。広島県更生保護協会は、関係機関と連携し、各事業が有効に実施できるよう協力支援を行う。

(事業の主な内容と平成18年度の実績)**1 委託事業 (厚生労働省から日本更生保護協会に事業委託)**

- (1) 職場体験講習 (実績1件)
- (2) トライアル雇用事業 (実績3件)
- (3) セミナー及び事業所見学会 (実績8回)

2 補助事業 (法務省の補助金により日本更生保護協会が実施)

身元保証 (実績39件)

広島県更生保護協会は、日本更生保護協会からの委託を受け、身元保証に係るNPO法人「全国更生保護就労支援会」への手数料の支給業務を行ったが、平成18年度は、39件、156万円の実績があった。

巻 頭 画 (北田和広・画)

本号は夜の“厳島”を掲げた。
スポットライトに浮かび上がった
社殿と舞。荘厳な世界である。

更生保護法人
広島県更生保護協会
会 報 第18号

〈編集発行〉
更生保護法人
広島県更生保護協会
〒730-0012
広島市中区上八丁堀3番6号
TEL (082) 221-4585
FAX (082) 221-4592
Eメール hogo@d9.dion.ne.jp

第18号編集委員

宮本 克彦・佐々木良子
谷尾 範子・桜井 武子

みんな一緒に
生きていく。

**赤い羽根
共同募金**

10月1日 ▶ 12月31日

お知らせ (予定)**1 更生保護**

「チャリティー音楽の夕べ」
"10周年記念"

平成20年 **2月29日(金)**
午後6時～

2 第6回更生保護

「チャリティーミニ絵画展」

平成19年 **11月27日** オープニング